

みんなの町議会



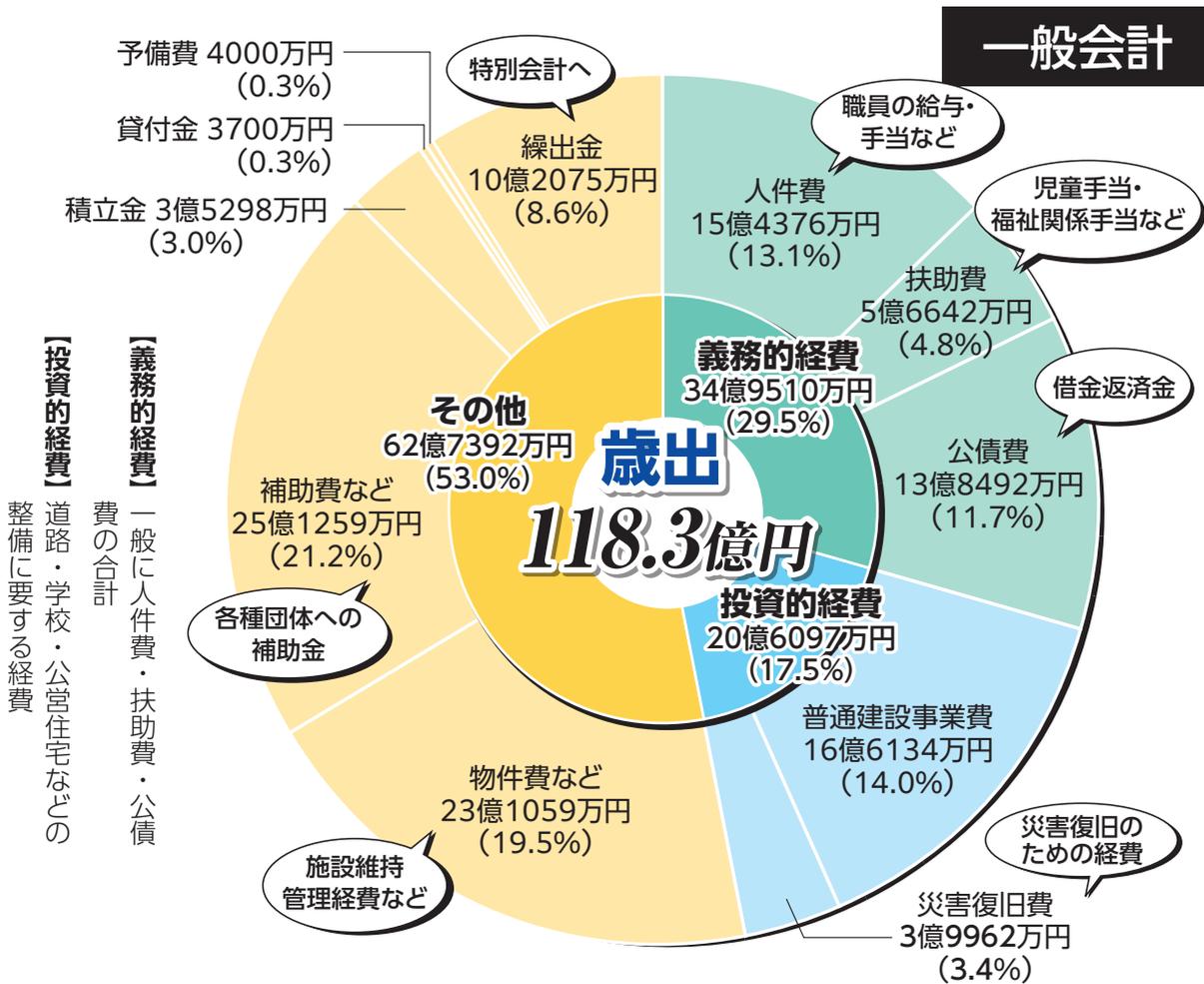
こだわりの
技を受け継ぐ！

| | |
|-------------------|----|
| 注目事業 | 4 |
| 予算をチェック | 6 |
| 町政を問う(一般質問) | 12 |
| ありゃあどうなった | 21 |

と協働のまちづくり

更なる拡充!!

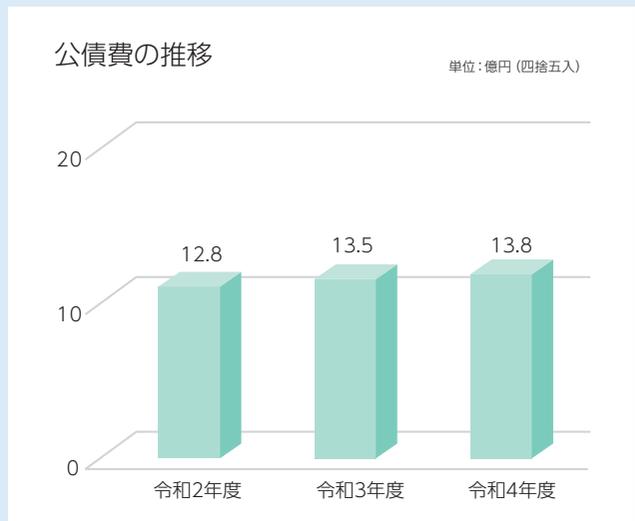
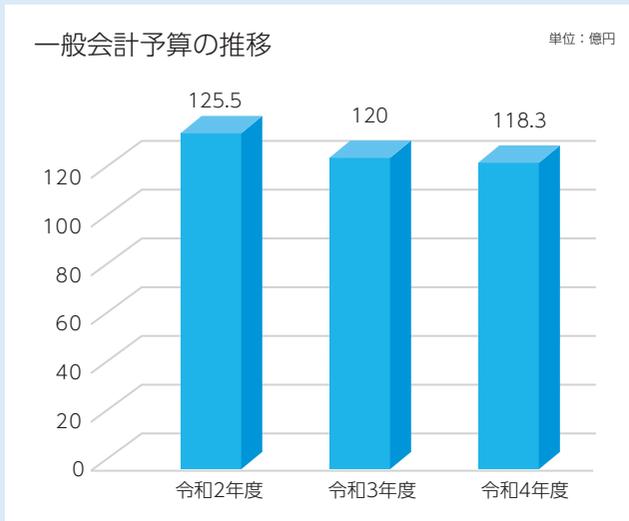
一般会計 118.3億円



3月定例会

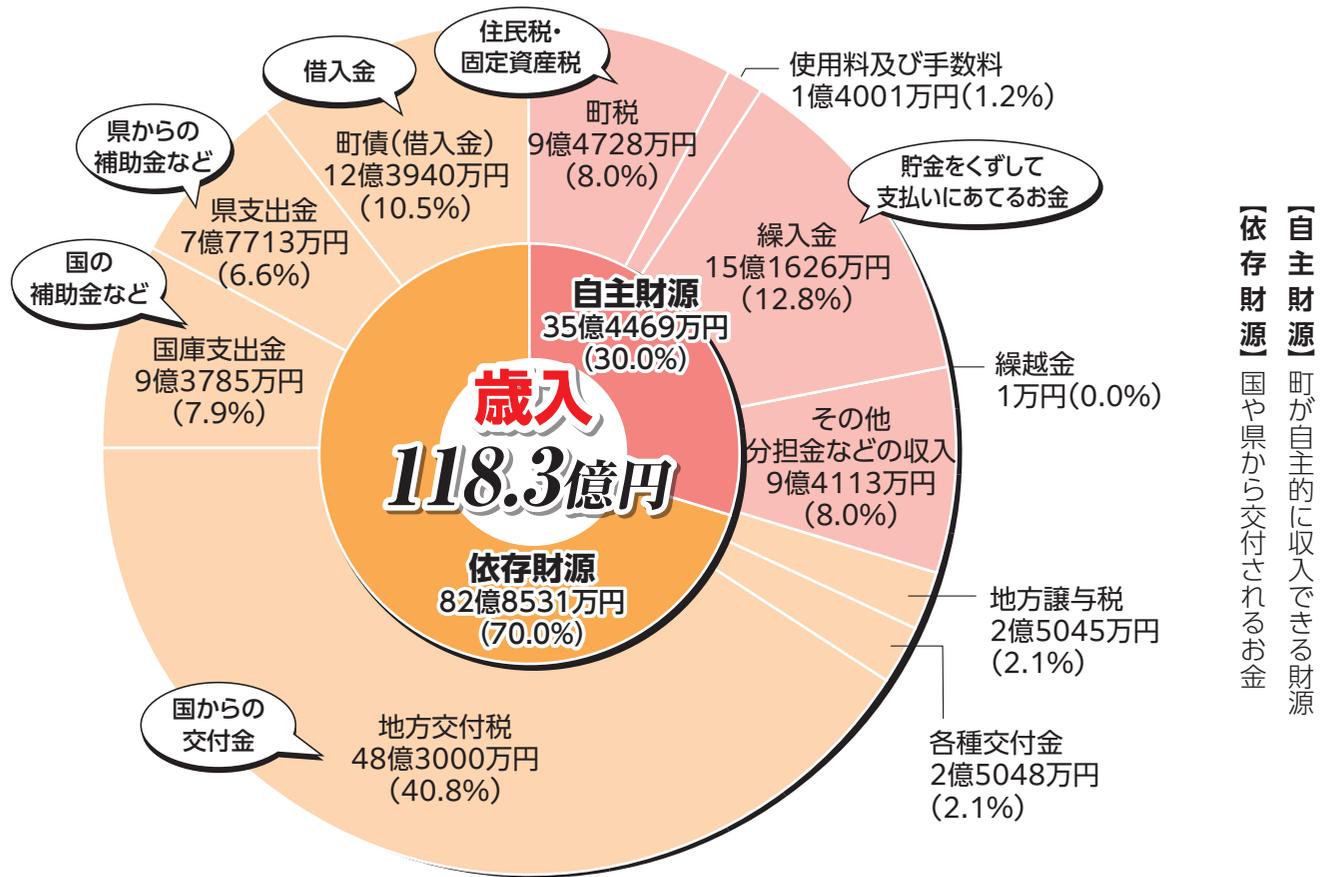
3月定例会は、3月3日に開会し3月23日に閉会しました。町の施政方針と教育行政方針が示され、上程された令和4年度一般会計当初予算など65議案を慎重に審議し、いずれも原案通り可決しました。一般質問では8人の議員が町政の課題などについて、質しました。

()は少数第2位を四捨五入したため合計が合わない場合があります



デジタル技術の活用 子育て支援の

令和4年度 予算 全会計 **164億3240万円** 前年対比 **11.9%減**



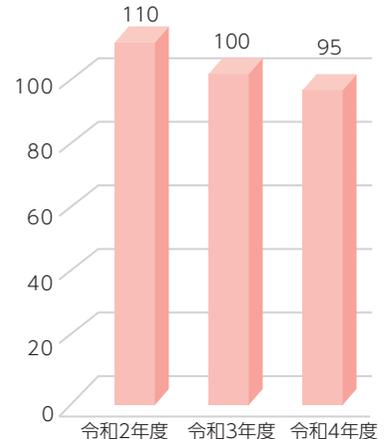
令和4年度予算会計別総括表

単位：万円(四捨五入)

| 会計名 | R4年度 | 前年度比較 | |
|-----------|----------|----------|--------|
| | 当初予算額 | 増減額 | 増減率 |
| 一般会計 | 118億3000 | △1億7000 | △1.4% |
| 特別会計 | | | |
| 国民健康保険 | 10億1400 | △8730 | △7.9% |
| 後期高齢者医療 | 3億7390 | 190 | 0.5% |
| 介護保険 | 19億3890 | 9745 | 5.3% |
| 簡易水道事業 | 3億8530 | 6090 | 18.8% |
| 飲料水供給施設事業 | 3740 | △260 | △6.5% |
| 農業集落排水事業 | 2億2670 | △1630 | △6.7% |
| 総合開発事業 | 330 | 160 | 94.1% |
| 分収育林事業 | 10 | △360 | △97.3% |
| 計 | 39億7960 | 5205 | 1.3% |
| 病院事業会計 | 6億2280 | △21億660 | △77.2% |
| 合計 | 164億3240 | △22億2455 | △11.9% |

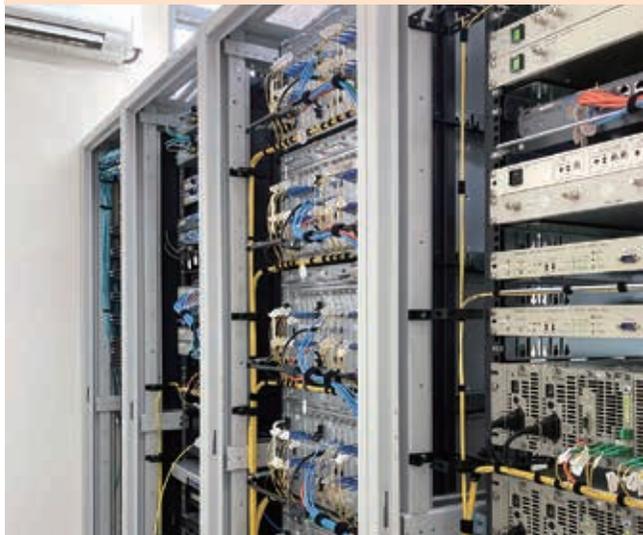
基金総額の推移

単位：億円(四捨五入)



注目の事業

かがやきネット設備更新



送信設備更新(三和地区)
1億7712万円

冬期生活支援住宅を改修



サテライトオフィスによる企業誘致
3519万円

有機農業の振興



みどりの食料システム戦略検討会
100万円

全国恋人の聖地広域連携事業



恋人の聖地に認定されている紙ヒコーキタワー
500万円

令和4年度

ウェアラブル端末の実証実験



オンライン健康相談
3000万円

町立病院移転事業



設備機器などの移転
4400万円

こばたけ保育所新築移転



整備工事費
5億8169万円

旧くるみ保育所の改修



放課後児童クラブ施設改修整備
4200万円

令和4年度 予算審議

予算をチエツク

総務課

**生活交通機関
確保事業**

木野山議員 本庁舎前を通る町営バスの運行は諦めたのか。

総務課長 利用実態がなく要望もないので、難しい状況である。

柏床議員 町営バスの車両更新の基準は。

総務課長 走行距離20万キロを基準に考えているが、バスのコンディションも考慮し更新時期を検討している。

柏床議員 町営バスの

委託料の増額要因は。

総務課長 前年度と比べると約380万円の増額となっている。町内2路線の町営バスの運行に係る乗務員の人件費9%増など、積算結果によるものである。

サポカー補助金

柏床議員 今年度のサポカー補助金の実績は。

総務課長 3月10日現在、助成件数74件。内訳は普通車が9台、軽自動車57台、中古車8台となっている。

柏床議員 後付けタイプの普及状況は。

総務課長 町内の業者

に問い合わせても実績がない。後付けタイプ装置については、装置の取り付け事業者が限定されるため普及が進まないものと推測。情報提供は行っていきたい。

避難所の整備と運営

柏床議員 コロナ禍の避難所の対応。

総務課長 令和2年から避難所運営の検討を行って、一定の指針を作成している。

柏床議員 避難所のトイレや洗面所の非接触自動水栓などの整備が十分では。

総務課長 検証を行い今後対応を考える。

柏床議員 避難所の備品・消耗品整備の充実は。

総務課長 平成30年災害を教訓に、令和元年と2年に避難所の環境整備に努めてきた。令和元年度に町内12カ所の避難所及び基幹避難所に必要な備品整備を行っている。令和2年度に県から資材提供もあり、一般的な整備は出来ている。

旧高蓋小学校の活用

木野山議員 旧高蓋小学校の備品を旧庁舎へ移動後、旧高蓋小の解体処分を検討されたい。

総務課長 現在、民間事業者から使用の申し出があり調整中だ。解体は考えていない。

政策企画課

**チャレンジファンド
運営事業**

横山議員 チャレンジファンド事業の補助金820万円の内容は。

政策企画課長 今年は、運営費として700万円と伴走型支援経費120万円を計上。昨年までは、企業版ふるさと納税などで、運営費を賄われてきた。寄附などが入れれば、この補助金は減額する予定だ。

横山議員 コロナ禍でダメージを受けた事業者への伴走型支援はできてるか。

政策企画課長 必要に応じて経営指導などの支援を行なっている。現在では計画通り償還される見込みだ。

木野山議員 令和3年度3月補正で560万円追加補正されたので、当初予算の820万円は不要では。

政策企画課長 560万円は指定寄附なので令和3年度分の運営費へ充当する。当初予算分は令和4年度分の財源として計上した。



各地区を結ぶ町営バス（神石-油木路線）



道の駅に陳列されたJINプレミアム認定商品

小川善議員 運営経費は独自の財源確保を考えてほしいと毎年提言している。どの様に運営費を集められているか。

政策企画課長 財団のホームページや直接事業所へ出向き、寄附を募っております。

小川善議員 普通は、ファンド事業をする場合、利子で運営する。

「チャレンジファンド」は利子を払わなくて良いのが、最大の特徴であるので、町から運営費を払うのではなく、自己資金を調達すべきでは。

政策企画課長 町の施策でもあるので、ふるさと納税などを使い補助したい。また、財団独自の収益事業をされるよう引き続き協議していく。

特定地域づくり事業 協同組合

小川善議員 総務省や県からも注目されているが、なぜ2万円の予算なのか。

政策企画課長 設立に向けた事前協議のための旅費である。

設立を急ぐだけではなく、マッチングができるか、閑散期の給与の支払いなど、事業者のメリットや持続的な運営などの見込が出来てから予算化した。

木野山議員 説明会参加企業から雇用要望など回答を求め、データ分析し具体的にマッチング作業を行うなど、積極的に攻めの事業展開を推進すべきでは。

政策企画課長 令和4年度上半期で分析把握を行い、それを踏まえマッチング作業を行い設立を目指す。

JINプレミアム

横山議員 JINプレミアムの消耗品はいつまで町が負担するのか。また、認知度が低いことへの対策は。

政策企画課長 消耗品負担については今後、検討課題である。認知度は低いとは思わないが、さらなるPRを考えている。

町PR事業

林議員 RCCラジオ番組でのPR方法と、放送の頻度・事業効果の目標は。

政策企画課長 「提供は神石高原町でした」というPRが入る。バラエティ番組の「ごぜん様さま」の天気予報コーナーでもPRを行う。聴取率は一週間で約63万人だ。

未来創造課

サテライトオフィス

久保田議員 小島地区の冬期生活支援住宅をサテライトオフィスに改修するが、企業誘致できるのか。

未来創造課長 改修と同時に募集をかけるが、確定はしていない。

木野山議員 182ステーションでDX事業を展開している企業に委託するのか。

未来創造課長 候補者の一つと考えているが首都圏などに本拠を置く企業に募集を掛けたい。

横山議員 サテライトオフィスを新しく整備する予算の中で、パソコンなど備品購入費550万円の必要性は。

未来創造課長 その企業だけでなく、地元企業や団体の方とも連携して地域内の資源を活用した仕事を生み出す事に利用して頂きたい。

横山議員 油木山村開発センターに整備されているサテライトオフィスの活用はどうするのか。

未来創造課長 引き続き開館時間などの課題もあるが、利用して頂きたい。冬季支援住宅の改修工事が終わるまでの活用もできると考えている。

ドローン活用

小川善議員 地産地防事業の内容は。

未来創造課長 町民がドローンを使って災害時にいち早く情報を収集していただく事業である。油木地区・豊松地区各5人に加え、三和地区・神石地区各5人の担い手育成のためのドローン講

習費用である。

住民課

固定資産税の評価

柏床議員 令和4年度委託料の内容は。

住民課長 令和6年度評価、不動産鑑定評価業務は3年に1度の土地の評価替えに係る経費で、132地点の調査を行うものと、地価が下落傾向にある場合の調査業務経費である。

産業課

堆肥購入の補助

林議員 牛糞堆肥の処理販売を行う、地力推進対策事業の生産者への補助金がカットされた

が、脱炭素化や循環型社会の実現のためにも耕畜連携の強化が必要であると考える。この補助事業を継続すべきでは。

産業課長 堆肥の処理販売がおおむね円滑に進んでおり、堆肥も滞ることなく、使用していただいている。

当初の補助金の目的は達成できていると考えており、見直したい。

有機農業の推進

柏床議員 有機農業産地づくり推進の実施計画の内容は。

産業課長 本町の有機農業推進協議会が実施主体となり、今後の有機農業の生産拡大に向けて令和4年度に実施計画を策定し、次の3項目を柱に取り組む。

- ①新規農業者の育成
 - ②販路拡大と流通効率化
 - ③消費拡大
- 目標年度は令和9年度と



堆肥の切り替えし作業（神石地域堆肥センター）

している。

狩猟免許講習会

久保田議員 狩猟免許（農獵）講習会の会場を町内で出来ないか、県との交渉結果は。

産業課長 開催は可能であるが福山地区猟友会との協議が必要である。令和4年度は無理であり、令和5年度に向けて調整する。

油木百彩館の支援

久保田議員 町道の軽微な維持管理（舗装修繕・

町道維持管理

藤田議員 油木百彩館の冷凍ショーケース一台、販売棚六台の購入目的は。

産業課長 経営支援など魅力化の目的で購入するものである。

藤田議員 民間商店の圧迫にならないか。

産業課長 地元商店と重複しないよう配慮する。

藤田議員 油木百彩館ならではの目玉商品、魅力商品の開発が必要では。

町長 若い人の声も聞きながら方策を考えていきたい。

建設課

側溝の土あげ・草刈りなど）申請窓口を一本化できないか。

建設課長 草刈りは協働支援センターを通して行なっている。そのほかは建設課で対応する。

久保田議員 側溝の土あげは申請が7月末になっている。秋に落ち葉で埋まることがあるので見直しできないか。

建設課長 予算確保のため7月末にしたが、現地を見て予算の範囲内で執行したい。

環境衛生課

やすらぎ苑の委託料

林議員 民間事業者が葬祭の運営に関わられているが、委託料は妥当か。

環境衛生課長 民間事業者は葬儀に必要な物品を喪主に提供したり、遺族に代わり、諸手続きをするやすらぎ苑の運営の一部を担われるわけではない。

また管理委託料は、人件費で業務量が減っており、算定は公共工事設計労務単価をもとに行い、従事する見込み日数をかけて予算を計上したので妥当と考える。

子育て応援課

こばたけ保育所 新築工事

久保田議員 こばたけ保育所の新築総事業費が5億8千万円に膨らむ。事業費を抑える努力をすべきでは。

子育て応援課長 こばたけ保育所には病後児保育室の併設や託児所の統合予算が含まれている。事業費の抑制に務める。

保健福祉課

オンライン診療

木野山議員 新たな予防医療の仕組みづくりの実証実験として、モニター(20人)は神石へき地診療所の患者に限定するか。

保健福祉課長 神石へき地診療所の患者に限定していない。

厚労省はコロナ禍におけるオンライン診療をさらに加速させることを考えており、幅広くお願いすることで課題も見えてくると思う。

病院事業特別会計

久保田議員 新町立病院は病床数が60床に削減されるが、交付税に影響はないのか。

保健福祉課長 特例があり、令和6年度まで大幅な減収はない。

久保田議員 政策医療費はどうなるのか。

保健福祉課長 指定管理者へ交付税相当額を充当する。

林議員 移転業務4400万円の中身は。

保健福祉課長 既存の医療機器、備品などの移設に関わる経費で、昨年11月に民間の運送会社と委託契約を締結した。

後期高齢者医療 特別会計

林議員 令和4年10月から後期高齢者医療保険の被保険者の一部の人の窓口負担が1割から2割になるが、本町には何人該当者がいるか。

保健福祉課長 被保険者の全体の2割と言われており、本町は2500人

おられるので、500人程度該当することになる。

国民健康保険特別 会計

林議員 国民健康保険料の18歳以下の均等割りが全額無料の自治体もあるが本町の軽減措置は。

保健福祉課長 本町は県内でもかなり低い税率で保険料を管理している。この度の税率改正でも、保険料の急激な上昇を抑えるため、基金繰り入れなどの手立てをしており、本町独自の軽減措置は考えていない。



こばたけ保育所の完成予想図

令和4年度 一般会計当初予算

賛成多数で可決

賛成
7

賛成討論

横山素子 議員

「安心 幸せ 更なる挑戦」を目指す予算編成である。

「デジタル技術の活用」と「協働のまちづくり」を最先端のテーマとし、過疎化・高齢化が進む本町に新技術を取り入れ、持続可能な未来創造や、協働のまちづくりなど、積極的な事業予算である。未来を担う子供たちを育てるための支援も、大いに評価する。

特に次の事について強く要望する。

- 1 DX推進は、広く住民に理解を得ること。特に未病への取り組みは、心身ともに、健康増進につながることを求める。
- 2 チャレンジ基金事業は、自助努力で健全で効果的な事業執行を求める。
- 3 農業振興ビジョンについては、早急に見直しをすること。

反対
1

反対討論

林憲志 議員

補助金カットに疑問がある事、中身の見えない事業が多い事、「デジタル格差」を広げる危惧があるので反対する。

1 地力推進対策事業の生産者への牛糞堆肥の補助金カットは、「耕畜連携」や「緑の食料システム戦略」の脱炭素・有機農業の拡大の施策にも反映する。

- 2 マイナンバーカードによる各種証明書のコンビニ交付は、効果が限定的であり、地域の実状に合っていない。
- 3 サテライトオフィスの企業誘致は、地域への経済波及の効果が無い。

令和4年度当初予算 議員賛否表(賛否の分かれた議案のみ)

○=賛成 ×=反対

| 議案名 | 寄定 秀幸 | 藤田 晃己 | 木野山 孝志 | 小川 清治 | 久保田 龍泉 | 横山 素子 | 林 憲志 | 小川 善久 | 柏床 由夫 | 橋本 輝久 |
|---------------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|------|-------|-------|-------|
| 神石高原町一般会計予算 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 休 |
| 国民健康保険特別会計予算 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 休 |
| 後期高齢者医療特別会計予算 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 休 |

議長は採決に加わらない (議長療養のため、副議長が議長職務代行)

3月補正予算 全会一致で可決！

一般会計補正総額 **▲9736万円** 一般会計補正後予算現計 **136億6307万円**
(四捨五入)

主な補正事業

地籍調査事業
総務省補正予算分

2億4855万円

生活交通確保事業
地方バス路線維持費補助金

537万円

庁舎建設事業
庁舎建設完成による清算

▲1億4500万円

病院事業会計補助金経費
公営企業会計補助金

▲1億3326万円

林議員 1406万円
 町の町民税増の決算見込みであるが、コロナ禍で所得が増えたのか。

町民税の増額要因は

林議員 コロナ軽減により、国の中小企業庁の固定資産税の軽減措置が行われ、5143万円の減額補正がされているが国の財政措置はあるか。
 住民課長 国からの財政支援措置として、固定資産税の減収額については、全額国債で補填される。

税収減の対処は

住民課

3月補正質疑



生活交通路線のバス

柏床議員 教育総務費の繰越明許費の内容は。
 教育課長 各学校90万円の予算を繰り越して新型コロナウイルス感染症対策のための備品を整備する。

繰越明許費

教育課

住民課長 昨年実績と今年度の決算見込みを比較すると所得割の方が令和3年では、約20人増加している。

12月補正

新型コロナウイルス感染症関連対策事業

18歳以下の子どもへの1人10万円給付金（残り5万円を現金給付）

4903万円

1月補正

新型コロナウイルス感染症関連対策事業

生活困窮者支援金（住民税非課税世帯）1世帯10万円

1億6193万円

2月補正

県議会議員選挙執行経費

広島県議会議員の辞職に伴う府中市神石郡区補欠選挙執行経費

876万円



小川 善久 議員

問 デジタル化のメリットは

答 町民の利便性や、職員の業務時間短縮

問 デジタル化は町民にとって、どのようなメリットがあるのか。
行政はこれにより業務が簡略化され職員の利便性も図れるか。
具体的な実施計画は。

答 町長 デジタル化の進展は、物理的な距離感を克服する事は出来ないが、時間的な距離感克服できる。
農業ではドローンを使った播種や農薬散布、生育状況の把握、物流ではドローン配送や無人バスの運行など。
オンライン診療やオン

問 令和4年度は行政手続きをオンライン化に着手。
情報システムの標準化・共通化は令和7年度までに実施するのか。

答 未来創造課長 住民基本台帳や、地方税・児童手当など17業務

ライン薬局も始まり、ネットショッピングなどは、地方の不利な条件の地域だからこそ、メリットが大きい。
行政施策では、各種申請書のデジタル化で役場に行くことなく申請が出来るサービスや、かがやきネットの情報をスマートフォンで取得できるなど、町民の利便性も高まり、職員の業務時間の短縮など、可能性が無限に想定できる。
DX推進計画に従い事業に取り組み、デジタル化の浸透を図る。

問 ポイントや情報はマイナンバーカードの

答 未来創造課長 独自のポイントや付与するなどの、考えている。

問 令和4年度にカードを全町民の90%以上に普及する目標がある。マイナンバーカードのメリットは。

答 未来創造課長 税務署に行かなくても国税の申告ができ、保険証の代わりになる。

マイナンバー
カード

が対象で、令和7年度までに全国共通の仕様となる予定だ。



マイナンバーカードの申請手続き

問 キャッシュレス決済をする場合、町の収入が減るのでは。

答 町長 手数料は減ることはない。別途、住民サービスとしてキャッシュレス化の経費は公費

キャッシュレス化

答 住民課長 カードは各々に格納された情報やポイントを引き出すための鍵であり、カードには直接書き込まれない。

中に記録されるのか。

問 住民票と印鑑証明をコンビニで取得できるようになる。今後支所やJA郵便局など町内で使いやすい場所への拡充は。

答 住民課長 端末機器は数千万円かかるので、考えていない。予算化したものは、町民が全国のコンビニで利用出来るようにするための予算である。

住民票の
コンビニ交付

負担する。

問 水道事業の安定的な供給体制は

答 現在、県と協議を重ねている



林 憲志 議員

問 広島県水道広域連携に加入した場合、本町の水道事業の安定的な供給体制はどうなるのか。

答 町長 事業計画素案では、水質が良好で水量が豊富な水源を活用する。浄水能力が高く余力のある浄水場に可能な限り集約、管路は更新時にあわせ縮小する。一方、安定した水の供給ができるのかなど、検討・精査しながら県企業局と事務協議を重ねている。

問 西油木浄水場など9浄水場の休廃止をする計画だが、統合は取水量低下の危惧がある。災

害が多発する状況下で、行うべきではないのでは。

答 環境衛生課長 計画では、連絡管をつなげば水源の相互融通が出来る。地域事情に応じ、さらに具体化して判断する。

問 災害時にどのように安定的なサービスをに行えるのかなど、不安払拭の住民説明は。

答 環境衛生課長 危機管理マニュアルを整備し、水道広域企業団と町とが、災害協定を締結し、自然災害に対処できる体制を整備する。円滑な業務の移行を図るため、事業開始時の職員定数は現在と同等とし、現地業務や災害時の応急対応はこれまで通り行う。住民の不安が払拭できるよう説明をしていく。

民間連携の施策は

問 本町は民間連携やDX推進による、行政のスリム化を引き金に小さな行政の施策を取り入れ、トランプ政権の時代にアメリカの分断の象徴と言われた、サンデイスプリング市のような町づくりを行うつもりではないのか。

答 町長 DX推進はあくまでも住民サービスの向上に取り組みるので、サンデイスプリング市のように公民連携で行政側が縮小できると思わない。人口減少に伴い行政が縮小していく中で、行政サービスを維持していくため、手法については参考にした。

森林の皆伐について

問 本町の森林は皆伐箇所が増えている、再造林できない山が目立ち、水源涵養能力の低下、土砂流出、生物多様性の低下などを招いているが、本町の対応は。

は個人財産の形成でもあり、町が支援することになれば、今以上の皆伐を増長しかねない。森林所有者との分収育林契約に基づく森林整備についても、将来的な財政負担を考えると、安易に取り組めない。今後、他市町の取り組みなどを参考に対応を検討したい。

答 町長 皆伐後の浸食防止などの森林整備



民間事業で蜜源の森を整備
神石高原町観光協会の畠山さんと
神石高原ミツバチ研究所の東さん（右）

問 令和4年度の重要施策は

答 未来を担う子供たちを育てたい



横山 素子 議員

問 令和4年度の施政方針の中で特に町長がやりたい重要施策とは何か。

答 町長 「安心して暮らせる」「更なる挑戦ができる」「まちづくりを目指し、その実現を後押しするのが「デジタルの活用」と「協働のまちづくり」だ。令和4年度では特に、未来を担う子供たちを育てるための支援を重要施策とする。

問 小児科医療への取り組みは。

答 町長 小児科医療は人口規模などで、経



油木保育所の退所式

営が成り立たない事から実現に至ってない。令和4年度からオンライン診療の検討を町内の医療機関と連携して行う。

問 予防医療・未病の具体的な取り組みは。

答 町長 令和4年度では、ウェアラブル端末をモニターになって頂く人に貸し出し、健康データや歩数などの行動データで、健康アドバイザーを行い、行動変容を促し、成果を検証する。

令和5年度以降は、検証結果をもとに、費用負担して頂き、健康づくりに活用して頂きたい。

また、健康ポイント制度を構築し、奨励特典などの仕組みを作りたい。

定住団地施策

問 定住団地計画の進捗は。

答 町長 井関地区第2定住団地は、平成30年7月豪雨災害により中断していた。その間、住宅事情を取り巻く情勢に変化が見られることから、民間事業者からの提案や意見聴取を行い、再検討することとした。

油木地区の新冠団地の計画は分譲か集合かなど不動産動向を見極める必要があるため早期に検討する。

令和4年度教育行政方針について

問 油木地区にオープンした「にしかわ化石館」を本町の社会教育施設としてどのように捉えているか。

答 教育長 油木地区の社会教育施設として他の社会教育施設と連携する事で教育的意義はさらに高まっていくものと考えてる。

教育委員会としては、いつでも誰でも学びたい時に学べる社会教育資源として、協働支援センターなどと連携し、必要な支援に努めていきたい。

答 未来創造課長 化石館は非常に貴重なものだと考えているので、今後も油木協働支援センターと連携して、情報発信などに取り組みしていきたい。

問 農業公社の議論の行方は

答 令和4年度引き続いて協議する



久保田 龍泉 議員

問 農業公社の今後について農業振興協議会での協議結果は。

また農業委員会から作業受託エリアを全町に拡大できる体制整備を早急に構築するよう要望があるが取り組みは。

答 町長 農業振興協議会で協議したが一定の方向性を出すまでには至っていない。

農業公社の在り方はどうあるべきか令和4年度引き続いて議論をお願いしたい。

問 令和4年度、堆肥の購入補助が廃止されたが、耕畜一貫体制維持のため補正予算を組むべきでは。

答 産業課長 堆肥利用が補助金の有無に限らず減少しており、補助金見直しの中で削減を決定した。

DX推進計画について

問 通信会社「神石高原テレコム」の設立を計画されたが詳細は。

答 町長 スーパーシティ構想の1事業として内閣府に提案したが、不採択になった。

問 令和4年度ウェアラブル端末を試験的に貸し出し血圧・歩数などの健康データを取得する。予算は3千万円計上してあるが業者の委託費や今後の利用料、端末代金はどうなるのか。

答 町長 実証実験として、ウェアラブル端末をモニターの方70人に

6カ月貸し出す。この間の通信料や端末リース料、業者の委託費用は町が負担。町は健康データや行動変容の成果を検証する。令和5年度以降は検証結果をもとに住民の方が個人で購入し健康づくりに活用して頂きたい。

今後は、健康ポイント制度を構築するなど、奨励特典の仕組みをつくりたい。

問 本格運用になった場合端末機器代や通信料はどうなるのか。

答 保健福祉課長 利用者負担になる。

問 ウェアラブル端末の情報をもとにオンライン診療が実施されるが、町内医療機関は全て参加するののか。

答 保健福祉課長 当面、神石へき地診療所で行う。



育苗前の掃除を行う、農業公社の職員

問 町立病院の参加は。

答 町長 移転の準備、開院があり令和5年度を目標に協議する。

野生生物保護管理

有害鳥獣駆除では十分に対応できず、県に野生生物保護管理部署の設置を提案すべきでは。

答 町長 広域的な調整が必要であると考えられており、県に要望する。

問 サル・イノシシなどは行政区を越えて移動するので市町単位での

問 地域森林管理方針の策定は

答 関係機関と協議し検討する



小川 清治 議員

問 ひろしまの森づくりと森林環境譲与税に関わる事業の具体は。

答 町長 森林環境譲与税事業は約三千万円で「森林の公益的機能の維持・発揮」を図るため、森林整備及びその促進事業を実施する。

問 森林環境譲与税事業とひろしまの森づくり事業のすみ分けと町民への周知、受付窓口は。

答 町長 森林環境譲与税は、県独自の方針と、事業の用途区分での基本的な考え方が示されており、その考え方に沿って事業実施をする。

ひろしまの森づくり事業は「ひろしまの森づくり事業推進協議会」で協議を行った後、自治振興会長を経由して、住民への事業内容周知・要望を取りまとめ補助要綱に沿った間伐や里山林整備を行っている。

問 人工林伐採後の再造林は。

答 町長 過去3年間の人工林皆伐は、80件40ヘクタールで、再造林の届出はない。伐採後の再造林は、森林所有者の判断となっている。

問 森林環境譲与税や森林経営管理制度により地域の森林管理における町の役割が高まっている。地域森林管理方針に沿った持続可能な循環型森林経営につなげる必要が求められる。本町の地域森林管理方針は。

答 産業課長 町の地域森林管理方針は策定していない。

問 国は、この税を使い森林所有者、事業者、町で協議・共有し、森林所有者への利益還元と安定的な事業確保に向け地域森林管理方針をつくり地域の民有林が長期的・計画的に管理されることとしており早期の策定をすべきでは。

答 町長 関係機関と協議し策定を検討する。

問 井関地区第2定住団地の取組みは。

答 町長 平成30年7月豪雨災害により事業を中断していたが、令和4年度で民間事業者・地元関係者と協議し、整備手法を決めたい。

問 令和5年度から、整備工事ができるのか。

答 町長 令和5年度から実施の予定である。



令和3年度神石高原輝きの森づくり（油木地区）

問 人材交流サイトの立ち上げは

答 登録で人材確保の支援を行う



木野山 孝志 議員

問 本年度、通年雇用の取り組み支援のため立ち上げる「人材交流サイト」の内容は。

また、特定地域づくり事業組合との関係は。

答 町長 町内外の経営体の必要な人材情報を登録し、人材確保の支援を行う。

特定事業組合が立ち上げられ、サイトへ登録し、加入促進を図りたい。

農業振興

問 農業振興協議会提案の「モデル地域」の指定は。

答 町長 経営継続の課題など危機感を持って積極的に課題解決に取り組む集落や農業法人のある地域を中心に指定したい。

問 指定地域の基盤整備への取り組みは。

答 町長 国の補助事業が活用できれば実施を検討する。



事業者へ、特定地域づくり事業組合制度の説明会

問 農業委員会から新規提案された非農地対策としての現況は。

答 町長 処理件数も多く、税担当部局と農業委員会との間で協議・調整中である。

答 住民課長 今後は農業委員会と協議し、地目変更の認定を行う。

問 不動産登記の証明書など、市町の窓口で交付出来るように制度改正の提案は。

答 町長 本町だけの課題ではなく対応を検討したい。

農地の荒廃防止

問 農地面積を基にした農業支援策を検討すべきでは。

答 産業課長 農地を守る施策なので状況を見て必要と有れば検討したい。

アフターコロナ対策は

問 商工業の支援策としてアフターコロナの事業継続に向けた支援の具体的な内容は。

答 町長 ITツールの導入、非対面ビジネスモデルへの転換、テレワーク環境整備、ECサイトの作成、ウェブ受発注システム導入などを想定している。

デジタル技術の活用

問 デジタル化による窓口業務の見直しの中で「書かない窓口」への取り組みとメリットは。

答 町長 職員が聞き取って申請書を作成し必要な手続きを行うもので、窓口一か所での煩雑な手続きが済むメリットがある。
DX推進計画をもとにさらに検討したい。

問 デジタル技術の浸透は

答 住みやすい町を創造するため



藤田 晃己 議員

問 デジタルトランスフォーメーション(DX)とは。

答 町長 デジタル技術を浸透させることで生活をより良いものへと変革することで、デジタル技術を使って、今よりも住みやすい神石高原町を創造することである。

問 この政策は攻めの政策か、守りの政策か。

答 町長 近い将来を見据えたときデジタル技術を浸透させることは必須であると考えており、その意味からすれば攻めの政策と言える。人口減少や高齢化が進

む中で、今の社会を未来へ確実に継承するためには、デジタル化を浸透させなければ確実な継承は危ういと考えている。その意味からすれば守りの政策とも言える。

問 新技術活用推進事業はソフト事業で、企業誘致促進事業はハード事業と捉えてよいのか。

答 町長 新技術活用事業は進出企業と地元企業の協働で地域へのデジタル技術の波及を支援するものだ。

企業誘致促進事業は、旧冬期支援住宅をサテライトオフィスに改修するための事業で、いわゆるハード事業だが、企業誘致促進事業費の中には、その他の企業誘致に対応するソフトの予算も含まれている。

問 DX推進計画による教育現場の影響や取り組みの変化は。

答 教育長 DX推進計画により児童生徒の教育活動に影響・変化することは少ない。

問 コロナウイルス感染症から2年経過し、町内事業者は厳しい経営環境に置かれているが対策は。

答 町長 長期にわたるコロナ禍で依然厳しい経営環境にあるが、国県などの対策が一定の効果をもたらしていると認識している。

アフターコロナ、ウィズコロナを見据えた支援など、経営環境改善を進める事業者への支援を行っていききたい。

問 コロナウイルス感染拡大による教育現場の対応と課題は。

答 教育長 基本的な感染症対策を徹底し、体調の変化や不安がある場合は、児童生徒及び教

職員とも自宅での休養し、医療機関を受診することとしている。同居の家族に同様の症状がみられる場合も登校・出勤を控えるようお

願っている。さらに、換気や給食時、各教科や部活動の具体的な活動場面ににおける感染症対策も実施している。



サテライトオフィスに改装される冬期生活支援住宅

問 農業振興ビジョンの見直し、検討は

答 現在、見直しを行っている



柏床 由夫 議員

関係機関で組織している協議会で、毎年4月に具体的振興計画を策定し、年度末に、成果確認、課

農業振興ビジョンが、平成24年2月に策定されている。目標年次は平成23年度から令和2年度とし、平成27年度に見直しを行うとあるが見直しが行われたのか。また、どの様に活用されたのか。

町長 農業振興ビジョンは、本町における農業の目指す方向を、トマト、ぶどう、和牛を中心に「赤と黒のプロジェクト」推進として、将来ビジョンを定めたもの。

題整理を行い、産地拡大の取り組みを進めてきたが、このビジョンの見直しは今まで行われていない。

トマト団地構想を計画、トマト研修制度の開始など、現在のトマト、ぶどう、神石牛の振興施策の取り組みに繋がっている。

問 今後の農業振興計画の方向は。

町長 今後のビジョンについては、引き続きトマト、ぶどう、神石牛の産地振興は本町の農業振興の柱であるから、県との協議の中でも引き続きビジョン策定を行うこととし、5年先を目標

として現在見直しを行っている。

農業振興支援

問 令和4年度の農業者・農業経営体などへの支援で拡充されるもの、廃止されるものは。

町長 本年度実施している各種農林業振興策を継続実施する。重点施策として、新規就農者や認定新規就農者を含めた担い手支援を中心に、新規事業の取り組みとして、経営支援・産地拡大支援を行うための予算措置を行った。

廃止事業として、令和2年度より段階的に削減してきた堆肥購入支援について、本年度をもって終了とさせていただきます。

「人材交流サイト」の立ち上げを行うとあるが、労働者派遣法など、法令に違反しないか。

産課長 法人などへの担い手支援として、求人情報を町のホームページなどへ掲載予定である。

有害鳥獣対策

問 有害鳥獣対策の基本的対処方針は。

町長 有害鳥獣対策は本年度同様、捕獲実施隊による駆除、追い払い業務のほか、自衛のための電気牧柵やネットなどの導入支援、イノシシ用箱わなの配布などを行う。今後はICTやAIを活用した新技術による被害防止対策などの検討も行いたい。



新規就農予定地 (李)

問 新規取り組みの中で、法人などの担い手支援として、求人情報の

こんなことが決まったよ

— 主なもの —

工事請負契約の締結

工事名 三和給食共同調理場
改修工事
請負金額 7,964万円
請負者 株式会社武田組 三和支店
工期 至 令和6年3月31日

全会一致

工事名 三和給食共同調理場
調理機器改修工事
請負金額 1億285万円
請負者 株式会社中西製作所 中四国支店
工期 至 令和6年3月31日

賛成多数

条例の一部改正・任命の同意

国民健康保険税条例の一部を改正する条例
 ・未就学児に係る均等割保険料の5割を公費負担。
 ・保険税の医療賦課限度額を65万円（現行63万円）に、後期賦課限度額を20万円（現行19万円）に引き上げ。

賛成多数

人権擁護委員の任命の同意

・横山 礼子
 ・岡本 純子
 ・藤井 義則
 任期は、法務大臣が委嘱した日から3年間

全会一致

議員発議

ロシアのウクライナ侵攻に断固反対する決議

ロシアに対し、ウクライナへの侵略を直ちに中止するよう求めるとともに、政府に対し、国際社会と連携し、難民救済など人道支援の迅速な取り組みを要請するための議会決議。

（要旨は22ページに掲載）

全会一致

提出者 藤田 晃己
 賛成者 横山 素子

神石高原町議会会議規則の一部改正

― 議場における情報通信
 端末機の使用規定の整備 ―

議会運営、各種会議の効率化、省資源化を目的に、会議システム用タブレット端末機を導入したことに伴う、必要事項を定めたもの。

要綱には、端末機の利用者、取扱い、使用制限、禁止事項、セキュリティ対策など14項目を定めた。

全会一致

提出者 久保田 龍泉
 賛成者 小川 清治

議員賛否表（賛否の分かれた議案のみ）

○=賛成 ×=反対

| 議案名 | 藤田 晃己 | 木野山 孝志 | 小川 清治 | 久保田 龍泉 | 横山 素子 | 林 憲志 | 小川 善久 | 柏床 由夫 | 寄定 秀幸 | 橋本 輝久 |
|-------------------------------|-------|--------|-------|--------|-------|------|-------|-------|-------|-------|
| 神石高原町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | - | 休 |
| 神石高原町冬期生活支援住宅設置及び管理条例を廃止する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | - | 休 |
| 神石高原町サテライトオフィス設置及び管理に関する条例の制定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | - | 休 |
| 神石高原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | - | 休 |

議長は採決に加わらない（議長療養のため、副議長が職務代行）

とよまつ総合センターオープン!

追跡!!

ありやあ
どうなった



令和4年4月1日、「とよまつ総合センター」のオープニングセレモニーが行われました。

平成の合併以来、職員の減少による豊松支所の空きスペースの有効利用と豊松地区の拠点施設として、役場支所・社会福祉協議会・協働支援センター・商工会・シルバー人材センター・居宅介護支援事業所の機能を一体化し、住民の皆さんの利便性向上と交流を図る目的としています。

事業費は国・県と地元事業所である(株)カルファインの寄附金があてられました。

オープニングには入江町長・橋本議長をはじめ、各事業所の代表者が列席し、テープカットが行われました。

議会事務局人事異動

新任

議会事務局 主任



井上 裕子

異動

産業課 主任



国重 修示

新事務局体制

事務局長 砂田香代子

主任 井上 裕子

とどけ!! 平和への祈り

抗議文

ロシア連邦大統領

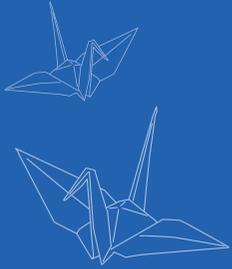
去る2月24日、貴国は、国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの侵攻を開始した。この軍事侵攻は、明らかに国際憲章に違反し、世界の安全保障と国際秩序を脅かす暴挙であり、断じて容認できない。

よって本議会は、国際秩序への挑戦ともいえるロシア軍による攻撃やウクライナの主権侵害に強く抗議するとともに、世界の恒久平和の実現に向け、攻撃の即時停止と完全撤退を強く求める。

令和4年3月4日

日本国広島県

神石高原町議会



議会決議

ロシアのウクライナ侵攻に断固反対する決議文

ロシアのウクライナ侵攻は、国連憲章に違反し、世界の安全保障と国際秩序を脅かす暴挙であり、断じて容認できない。

原子力発電所への攻撃やプーチン大統領の核兵器使用を示唆する発言は、「被爆地ヒロシマ」の心を踏みにじるものであり、核兵器による攻撃や核の威嚇、けん制は断じて許されない。

ロシア軍による攻撃やウクライナの主権侵害に強く抗議するとともに、ウクライナへの攻撃の即時停止と完全撤退を強く求めるものである。

また、日本政府に於いては、ウクライナからの避難民への人道支援の迅速な対応を強く要請する。

令和4年3月11日



ロシアの軍事侵攻に抗議し平和を求める町民集会

〔入江町長への要望〕

ウクライナ難民受け入れに関する要望書

ロシアのウクライナ侵攻から3週間が経過し、多くの尊い命が失われていることに憤りを感じるとともに、一日も早く戦争が終結し平和が訪れることを願うばかりである。

抗議文や平和集会などで、平和への祈りと願いの情報発信をしてきた。しかし、戦局は激しさを増し、犠牲者が増加し危機的な状況である。

神石高原町として、避難民に対し可能な限りの人道支援をすべきであり、次の事項を強く要望する。

- 避難民受入体制の早急な構築
- 町営住宅・空き施設など、住居の具体的検討
- 行政サービス（教育・医療・福祉・雇用）の提供を検討
- 寄り添う支援体制（言語・生活様式・心のケア）を検討

令和4年3月18日

神石高原町議会

まちの声

議会クイズの解答と共に寄せられた要望・意見・感想など主なもの

●興味深く読ませて頂いております。良いまちづくりを宜しくお願いいたします。

(60代 男性)

●長者原トンネルの改良は強くのぞみます。油木から病院への重要道路ですから、今後利用する事が多くなります。

(80代 女性)

●町議会の益々の御活躍を祈ります。合わせて皆様の御健勝を祈ります。

(80代 男性)

●字画をもう少しおおきくして

(80代 女性)

●人の流出をいかにして防ぐか！ やはりTVで若者の意見をよく聞いて空き地を活用などして、安全で豊かなまちづくりプロジェクトを創りたいものです。

(60代 男性)

●全国民のねがいです。コロナが早く終わりますように心から祈りたいです!!

(60代 男性)

●議会だよりをゆっくり読むと、とても参考になります。

(女性)

●第70号をたのしみに待っています。

(女性)

第52回 議会クイズ GIKAI QUIZ

空欄に適切な言葉をいれてください

- ① 令和4年度 一般会計予算 ○○○億3000万円
- ② 旧○○○保育所改修 4200万円
- ③ ○○○○総合センター オープン

 ヒント 議会広報をよく読んでね!

●応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。(メールFAX可)
正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。
応募は、1人・1通に限らせていただきます。

●あて先

〒720-1522 神石高原町小畠1701番地
神石高原町議会事務局「第52回議会クイズ係宛」

●FAX 85-4201

●メールアドレス jk-gikai@town.jinsekikogen.hiroshima.jp

●締め切り ・はがき 令和4年6月10日(金)消印有効
・メール 令和4年6月10日(金)17時締切

●個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。



議会クイズにたくさんのご応募ありがとうございました。皆様からいただいた声を受けとめ、前向きに取り組んでいきます。

クイズの答え

- ① バイオマス 発電所
- ② 子ども 食堂
- ③ 3回目の ワクチン 接種

第51回 議会クイズ当選者

豊松地区

坂井 朝昭さん

おめでとうございます!

豊松協働支援センター



令和3年2月20日(土)に「とよまつプレーパーク(仮称)」の整備をはじめから、1年が経ちました。豊松小学校の子どもたちが「とよまる公園」という名称を決め、看板を設置しました。その後「とよまる公園活性化プロジェクト」という名のもと、豊松小学校では、総合的な学習の時間を活用してより魅力的な公園になるよう取り組んできました。子供たちのアイデアをもとに、花壇、遊具の説明看板や階段を設置しました。その際には、地域の皆様をはじめ、豊松出身の中学生にも協力してもらい、みんなで公園作りを盛り上げてきました。

日常的にとよまつ保育所の

活動や、夏休みには親子キャンプ場としても活用され、地域の子育ての中心の場として機能しはじめています。町内の皆様、ぜひ遊びに来てください。



豊松地区の小・中学生と地域の皆さん



階段設置状況



花壇制作中

■発行責任者 議長 橋本輝久
住所／広島県神石郡神石高原町小島一七〇一

TEL 0847-189-3340
FAX 0847-185-4201

議会広報常任委員会
委員長 小川 善久
副委員長 柏床 由夫
委員 橋本 輝久
委員 寄定 秀幸
委員 林 憲志

(林) ロシアのウクライナ侵攻、新型コロナウイルスの猛威など事案続出の令和4年も4分の1が終わりました。冬が終わり、桜の花が咲き、鳥たちも活気づき、命輝く季節の到来。科学の進歩と自然への畏敬。全ての生き物に与えられた大地の恵みに感謝の思いを新たに、皆様と議会、一人一人の夢や情熱を尊重し、共に進んで参りましょう。



表紙の紹介



神龍味噌を事業承継した 門田さん夫婦